

1 - 2 釧路支庁北部の地震活動（1994年1月～10月）

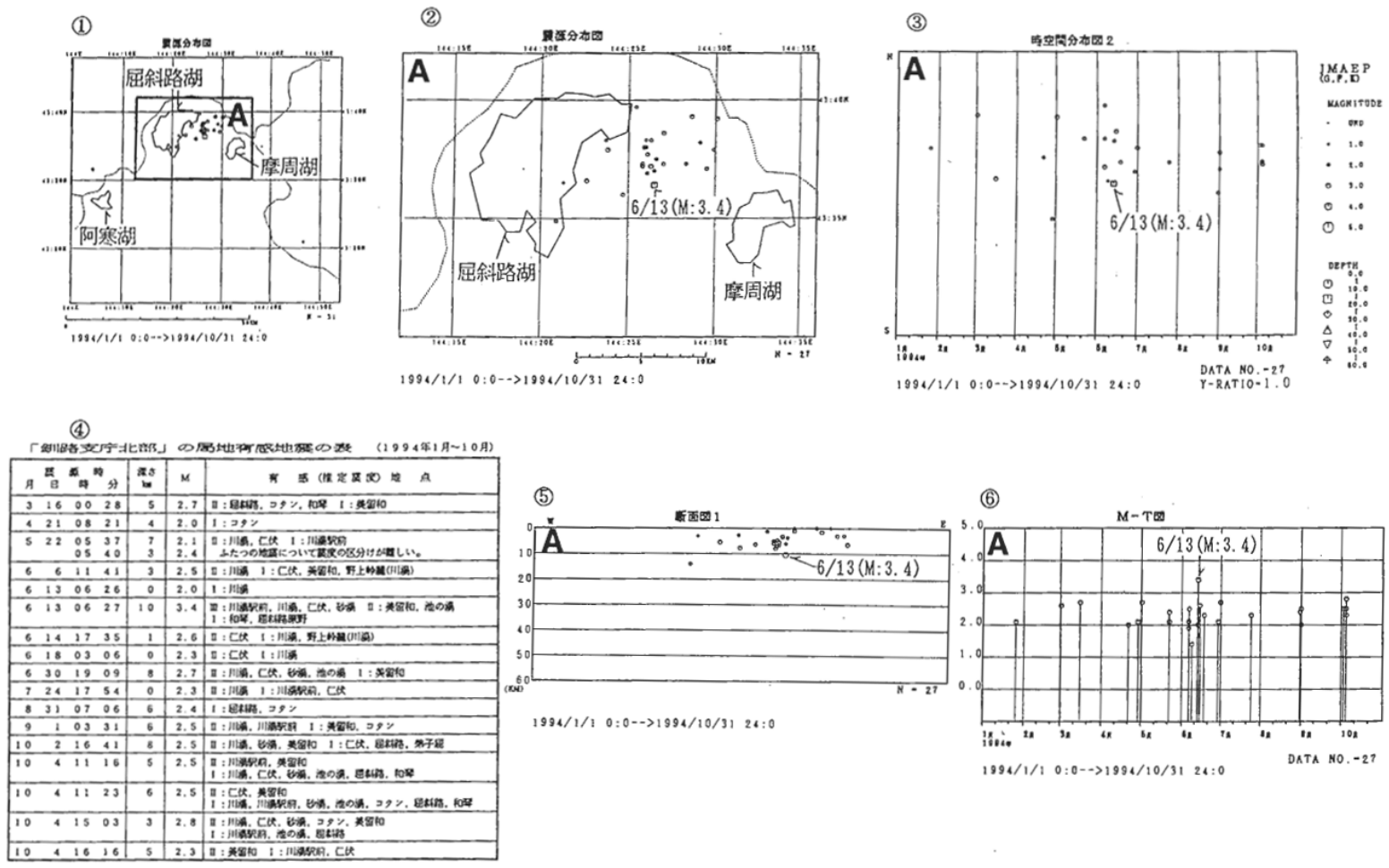
Seismic Activity around the northern part of the Kushiro region (January-October, 1994)

札幌管区气象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

第1図に1994年1月～10月の間の釧路支庁北部の地震活動の状況を示した。釧路支庁北部では、屈斜路湖から弟子屈付近（第1図の枠A内）を震源とする地震が3月頃から発生し、6月～7月の期間に地震活動がやや活発になった。震央分布を第1図に、南北方向の時空間分布を同様に、東西断面図を同様に、M-T図を同様に、それぞれ示す。有感地震は3月～10月の間に18回発生した（第1図）。最大の地震は、6月13日のM3.3（深さ8km）の地震で、現地付近で震度3を感じたと報告されている。また、10月4日北海道東方沖地震の起こる前には4回の有感地震が発生したが、これ以降、震源が決まるほどの地震は発生していない。

第2図の1と2に、過去約10年間（1984年1月から1994年10月）、および過去約70年間（1926年1月から1994年10月）の地震活動の状況をそれぞれ示した。最近10年間では1988年に今回と同程度の地震活動が見られた（第2図、1の～）。また1926年以降、M6以上の被害を伴った地震が4回発生しているが、1967年には過去最大のM6.5の地震が発生している。

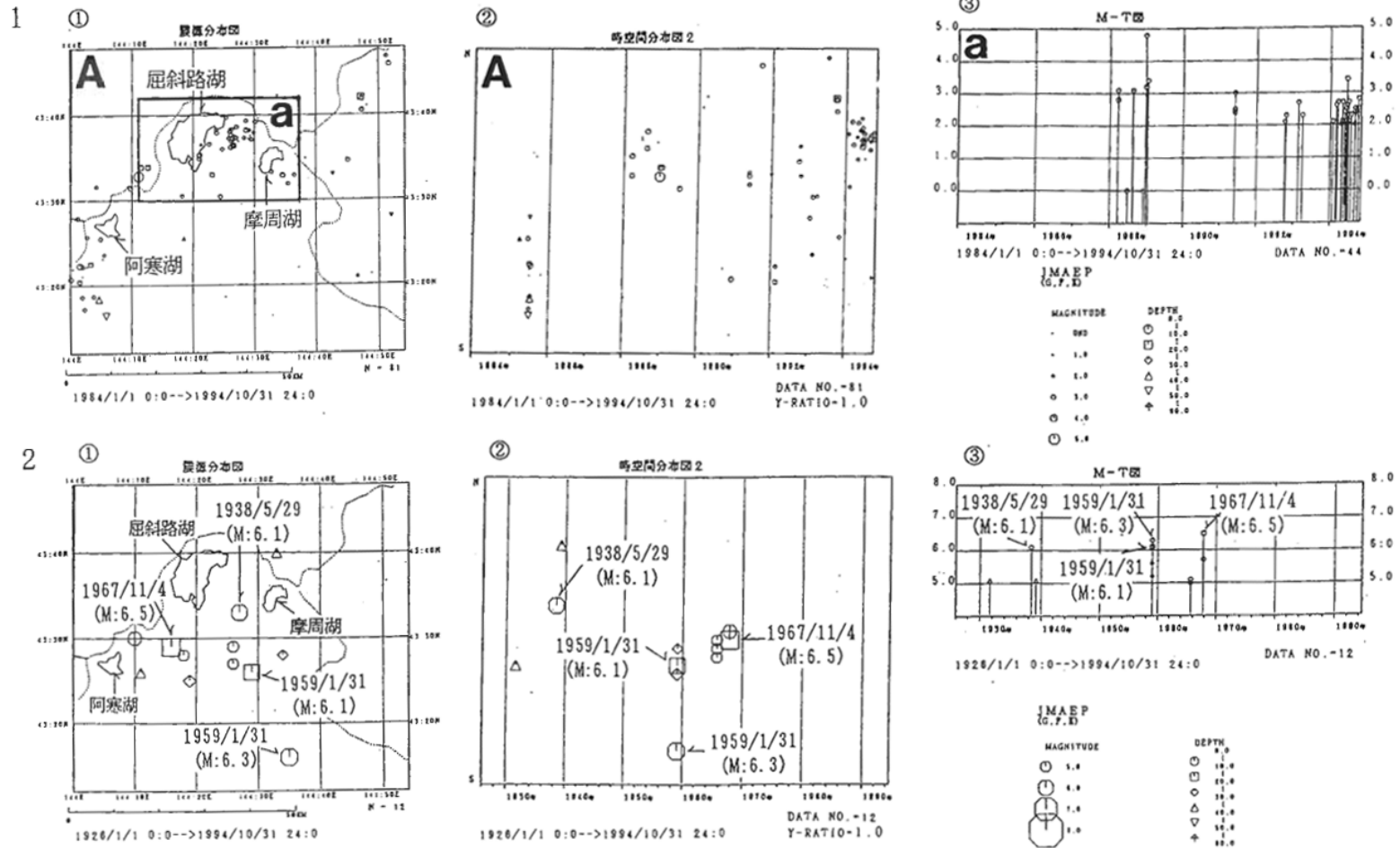


第1図 鉚路支庁北部の地震活動 (1994年1月~10月, $h \leq 60$ km)

①, ②: 震央分布図 ③: N-S方向の時空間分布図 ④: 局地有感地震の表 ⑤: E-W断面図 ⑥: M-T図

Fig. 1 Seismic activity around the northern part of Kushiro region (January - October, 1994, $h \leq 60$ km).

①, ②: Epicentral distribution, ③: Space - time plot along the N - S direction, ④: List of the felt earthquakes, ⑤: Vertical section along the E - W direction, ⑥: M - T diagram.



第2図 釧路支庁北部の地震活動

1. 1984年1月～1994年10月, $h \leq 60$ km ①: 震央分布図 ②: 時空間分布図 ③: M-T図

2. 1926年1月～1994年10月, $h \leq 60$ km, $M \geq 5.0$ ①: 震央分布図 ②: 時空間分布図 ③: M-T図

Fig. 2 Seismic activity around the northern part of Kushiro region.

1. January, 1984 - October, 1994, $h \leq 60$ km ①: Epicentral distribution, ②: Space - time plot along the N - S direction, ③: M - T diagram

2. January, 1926 - October, 1994, $h \leq 60$ km, $M \geq 5.0$ ①: Epicentral distribution, ②: Space - time plot along the N - S direction, ③: M - T diagram.